



1 デラックスツイン(33㎡)は、ヘッドボード上の壁の色は淡い茶色で、ボトムスカートは青。ベッド下のカーペットは机周りよりも毛足が長く、ループ上になった柔らかいものを採用している。マットレスは今回の改装にともない、すべてドリームベッドの扱う米国サータ製に改めた。枕はロフテーと共同開発した、ベッドサイズは1200mm×2000mm。枕は三井ガーデンホテルズオリジナルの「快眠枕」で、内部が6つに分かれ、高さが好みで選べる。

「三井ガーデンホテル蒲田」は、2006年3月中旬から5月初めにかけて221室ある全客室のリニューアルを実施した。蒲田近辺には多くの中小工場が集積し、出張ニーズの高い土地柄であるが、同年5月15日には「R&Bホテル蒲田東口」が、8月1日には宿泊施設付帯の温泉施設がオープンするなど、将来的な激戦化が予測されている。そこで開業より13年経った同館は、初めての大型なリニューアルに踏み切った。

改装は10フロアを2フロアずつに分けてクロスし、1フロア11日間のペースで行なわれた。ベッドマットレスをすべて入れ替えて米国・サータ社製を導入し、シーツにセミデュベスタイルを採用したほか、カーペット、壁紙を張り替えた。また冷蔵庫はノンフロントタイプに更新した。

カラースキームは茶と青で、ヘッドボード側の壁の色やベッドのボトムスカートはこの2色を使い分けている。じゅうたんはベッド下は柔らかい材質、入り口からデスク周りは硬い材質のもの2種類のものを使い分けているのが特徴的だ。シングルやダブルルームにはオフィス用の5本足の椅子を新たに採用するなど、出張客のニーズに応えたものになっている。またこれまで高速LANの接続対応の客室は4フロア分のみだったが、今回の改装で全室が接続可能となった。

ラックレイトも出張需要に合わせて季節変動の大きいものだったが、改装を機にすっきりとしたわかりやすいものに改めた。こうしたリニューアル効果で、3%の売り上げ増が期待されている。

## 三井ガーデンホテル蒲田

【東京・大田区】 開業◎1993年9月 客室数◎221室

出張客のニーズに応じて  
デザインと機能を刷新

2 廊下のカーペットも客室と同じものに張り替え、ドアの一部はカラーリングを変更した。3 ダブルB(18㎡)は、ヘッドボード上の壁の色は青で、ボトムスカートは濃い茶色。なお、全室ともランプシェードはこの秋に、テレビは年末までに液晶20インチ型に変更され、全改装が完了する。



稼働開始日◎2006年5月8日

客室構成◎シングル72室、ダブル46室、ツイン93室、  
デラックスツイン10室

設計◎南Yaz design associates

施工◎株式会社イリヤ